

平成 25 年度 川口地域委員会
川口コミュニティ検討分科会 検討結果

1 検討テーマ「川口地域のコミュニティについて」

2 地域コミュニティてなに？＝「住民(近所)どうしのつながり、まとまり」

「町内会・自治会」「自治連合会」「自主防災会」「老人会」「青年会」といった単位もコミュニティとしてとりあげられています。

テーマとしているのは⇒「川口地域全体の住民どうしのつながりやまとまりをどのように作り、住み良いまちづくりを進めていくのか。⇒その手段の一つがコミュニティセンター化

3 なぜ今コミュニティを検討するのか

(1) 全市的には

⇒社会の急速な変化や環境問題をはじめとして少子・高齢化問題や地域連帯感の希薄化などにより、地域活動の担い手の不足とともに、様々な課題の解決が困難。

①地域の財（人・モノ・カネ）は地域で守る（第1原則）

防犯、防災、交通安全、子育て、児童及び青少年の健全育成、高齢者の居場所、など

②地域のことは地域で決める（自分たちでできることは自分たちで行う）

地域のことをよく知る地域住民が主体となりまちづくりを進めることが重要。これが「市民力」「地域力」の原動力であり、住民自治の基本。

(2) 川口地域では

⇒現在、旧大字単位や地域づくり団体、NPO 法人くらしサポート越後川口などによるコミュニティ活動が積極的に行われているが、今後更に進む少子・高齢化や人口の減少、また、後継者や人材不足などに伴い、現在ある組織の存続や活動の継続、運営面の持続においても将来に向けて懸念される点が多い。



将来にわたり川口地域全体・各地区が、いきいきと輝き、そして安心して幸せに生活できるように今からその対応を進めるため、「地域コミュニティ」の検討が必要。

4 分科会の体制

○全地域委員が参加の分科会

○分科会長 星野 晃男委員 副分科会長 水落 優委員

5 分科会の開催状況

分科会等	開催日	会場・場所	内 容	出席数
第1回分科会	7月30日	支 所	○長岡地域のコミュニティの推進について～市民活動推進課長より ○今後の進め方について ○意見交換	13名
視 察 研 修	9月19日	みしまコミュニティセンター	○コミュニティセンター設立までの経緯（三島支所より） ○コミュニティセンターの運営（センター長より）	8名
第2回分科会	9月19日	支 所	○視察研修の振り返り ○川口地域のコミュニティの現状 ○意見交換（川口地域のコミュニティの課題・問題点など）	9名
第3回分科会	10月8日	支 所	○ 第1回・第2回分科会の振り返り ○ 意見交換（川口地域のコミュニティの課題・問題点など）	12名
第4回分科会	11月27日	支 所	○ 前回までの検討内容の整理 ○ グループ討議（2グループ） 1グループ＝「まちづくり、福祉」 2グループ＝「生涯学習、児童育成、健康づくり」 ○今後のコミュニティ検討組織について	12名

6 分科会における意見の整理

(1)分科会での主な自由意見

- ①既存の組織との調整が必要。公民館分館、老人会、総代など一同に会し検討することが必要ではないか。
- ③川口にはNPO法人くらしサポート越後川口がある。活動が重複するのでは。
- ④各地区でやることと、各地区でやっている事業を集約することも必要。
- ⑤過疎化、高齢化が進む中で、コミセンが出来て既存の枠を取り払い調整役を担ってもらえるとありがたい。
- ⑥コミセンが出来ること、各団体の調整役を担ったり、さまざまな情報をもっと発信できると思う。コミセンの推進は必要と思う。
- ⑦建物や組織よりそこに関わる人が重要。
- ⑧スクラムを組み一つになって長岡の中で光輝き、アピールできるものをしていかなければ。
- ⑨住民が立ち上がっていれば、コミュニティの組織を作らなくても良いと思う。

- ⑩団体などに情報提供も含め、アンケートを実施したらどうか。
- ⑪地域活動の温度差や地域性が分かれている。いろんな人から意見を聞きながら時間をかけて議論を深めることが必要
- ⑫将来のためコミセンなどいろいろな取り組みが必要。公民館活動を一度スクラップアンドビルドする必要があると思う。
- ⑬多世代の交流を進め、若い方の意見を取り入れてもらいたい。
- ⑭地域委員会だけでは、地域全体の声を聞ける環境は出来ないと思うので、早めに委員会を作り、多く意見を聞く場を作ることが必要かと思う。
- ⑮川口地域全体で集まる場が少なくなっており、集落間の連携、絆が弱くなっている。より川口地域に魅力や愛着を感じるようなまちづくり、人とのつながりを活かした川口地域全体で支えあう仕組みが出来ればよいと思う。



意見のまとめ

- ★コミセンは必要→川口地域全体の連携や支えあう仕組み、コミュニティの調整役、情報発信の中心、活動のセンター化、スクラムを組んで地域をアピール。
- ★課題は→地域によって温度差がある。地域や団体、若い人などと検討や調整が必要。NPO 法人くらサポート越後川口との関係。建物や組織より、リーダーや旗振り役など人材が大切。子育て環境の整備。
- ★一方→「住民が立ち上がっていれば今のままでも良い」との意見も。

(2)川口地域のコミュニティにおける現状と課題・問題点等の整理

川口地域のコミュニティにおける現状と課題シート	
項目	現状や将来にわたり心配な点など(課題・問題点)
まちづくり 自治組織 (町内会) 地域づくり団体 防犯、防災 交通安全 環境美化 祭、イベント など	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選出(各地区) ・人材不足(金太郎アメ) ・NPOとコミセン活動の重複 ・地区や団体間の連携が少ない ・川口地域全体で集まる機会が少なくなった ・事業を実施しても参加者が少ない ・地域によって活動の温度差がある ・各地区や団体でやっている事業の集約 ・支部範囲の見直し(交通安全協会) ・若い人の活動の場が無い ・若い人の地域活動への参加が少ない ・多世代の交流が無い ・世代交代、人材の確保が必要になっている ・田麦山地区では、道普請の後に飲み会を実施している ・中山地区では、共同作業を行う時が顔合

川口地域のコミュニティにおける現状と課題シート	
項目	現状や将来にわたり心配な点など(課題・問題点)
生涯学習・文化 (公民館活動 文化・芸能 サークル活動 など)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る機会を更に増やしてほしい ・地域の歴史、良さを気づく学習活動が必要 ・地域の人が「まちの先生」になれるような事業が必要 ・公民館(分館)は人集めの組織となっている ・各団体を川口地域でまとめたものがあれば便利 ・活動が中心部だけでなく各地区でバランス良く活動を! ・同じような事業が重複、調整したら? ・くらサポは事務をしてくれる組織ではない(頑張っている人をサポート) ・各サークルがバラバラで活動。まとめる組織も必要。 ・地域の情報を集めてくる人材が必要 ・情報と情報をつなげる組織が必要!
児童育成 (幼児育成 児童育成 青少年健全育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・川口地域全体で取り組む子育て支援(集落や地区を超えた枠組み) ・子どもの遊べるところを増やす ・子どもたちが「ものづくり」ができる事業があれば ・金額はすくなくともいいので「有償ボランティア」制度があればいい ・キッズルーム誰か常駐していればもっと利用がある ・地域の「匠」と子供の遊びをつなげられる制度があればいい ・学校と地域が連携して事業を
健康づくり (健康づくり スポーツ レクリエーション 食育 など)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体→少子化でこれからどうなる ・川口地域全体で取り組む事業が無い(運動会など) ・川口公民館では、料理教室ができない。→泉水分館、田麦山分館を活用したら ・食生活改善推進員がもっと活かせる事業を ・小中学校の運動会に地域も入ってたらどうか ・男の料理教室をもっと開催してほしい ・独立しているスポーツサークルは、コミセンに入らなくても良い (情報は提供する)
福祉 (高齢者福祉 ボランティア活動 障害者福祉 など)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転ボランティア~長く実施している人が多く、また、高齢化している。新規の加入者がいない ・給食ボランティア~世代交代もあるが、若い方が少なく、参加している地区に偏りがある ・若い人が入ってこない ・外部からの応援が必要となっている ・人とのつながりが大切だが ⇒各地区でいきいきサロンを実施している。世話人(リーダー)の育成が必要 ・敬老会は今のよう地区でやるのが良い

7 まとめ

①コミュニティセンターの必要性

今後さらに進むであろう少子高齢化や人口の減少、また、人材の不足など、現在ある組織や団体の存続や活動の継続、運営面の維持において、将来に向って懸念される点が多いと思われます。

川口地域全体の連携や支えあう仕組み、コミュニティの調整役、情報発信の中心、活動のセンター化、スクラムを組んで地域をアピールする手段など、将来を見据え

コミュニティセンターは必要という意見が多くありました。

一方で、NPO法人くらしサポート越後川口や各地区、各団体が現在積極的な活動を行っており、さらにコミュニティセンターが必要なのか？という意見もありました。

本分科会においては、その結論を出す場ではないことを確認し、その結論は次年度以降、専門の検討組織を設置した中で十分な議論をすることが望ましいと判断しました。

②検討組織の設置

コミュニティの検討にあたっては、地域の声や関係する組織や団体など幅広い意見が反映されるように専門の検討組織を設置する必要があるとの意見が多数ありました。

それを踏まえ、新たな組織の設置と構成メンバーについて次のとおり提案します。

川口コミュニティ検討委員会(仮称)構成メンバーの提案

	組織・団体名	選出者	備 考
1	地域委員会	委員長	地域委員会
2	地域委員会	委 員	地域委員会（平成 25 年度分科会長）
3	総代会	推 薦	地域代表
4	地区枠 1	推 薦	地域代表 (選出地区は全体のバランスを考慮し決定)
5	地区枠 2	推 薦	地域代表 (選出地区は全体のバランスを考慮し決定)
6	NPO 法人くらしサポート越後川口	推 薦	地域づくり団体
7	川口公民館	推 薦	公民館
8	社会教育関係団体枠 1	推 薦	社会教育関係(文化・芸能団体等)
9	社会教育関係団体枠 2	推 薦	社会教育関係(文化・芸能団体等)
10	川口地区スポーツ協会	推 薦	スポーツ関係
11	川口地区スポーツ推進員	推 薦	スポーツ関係
12	長岡市社会福祉協議会川口支所	推 薦	福祉関係
13	老人クラブ連合会川口支部	推 薦	福祉関係
14	川口小学校 P T A	推 薦	学校関係
15	長岡市消防団川口方面隊	推 薦	消防、防災関係

③現状と課題・問題点等の活用

今までの分科会で出された意見や課題・問題点、また、視察研修の内容は、別途整理をしましたので、今後設置される検討組織で資料として活用ください。

また、必要により地域の現状や課題、ニーズなどを把握するため各地区や団体、組織等へのアンケート調査やヒヤリングの実施と共に、検討組織の活動内容や検討状況などについての情報提供も積極的に行い、地域が一つになり取り組むことが大切であると思います。

新たな検討組織での検討イメージ

